

防災・減災対策の主な取組み

教訓を伝える

●台風23号の

浸水水位などの標示

豊岡ロータリークラブと豊岡円山川ロータリークラブから台風23号の浸水水位を示す標柱の寄贈を受け、市内40カ所に設置しました。

12センチメートル角のステンレス製の青い柱に当時の水位が赤いラインで表示されています。被害の大きかった地域では3メートルを超える位置にラインがしるさされています。

また、国・県・市の三者で、浸水水位を示す「洪水標識」や



▲2.4mの水位を記録した庄境区

「避難所標識」をまちの中に設置し、まちそのものをハザードマップに見立てる「まるごとまちごとハザードマップ事業」を展開しています。

●メモリアルデー

防災・減災授業

台風23号の教訓を、次代を担う子どもたちに伝えていくと、市内すべての幼稚園と小中学校で、平成17年度から「メモリアルデー防災・減災授業」を行っています。

市教育委員会が作成した防災教育資料を活用して防災授業や防災訓練を実施し、子どもたちは、防災・減災についての認識を深めるとともに、生



▲小学校でのメモリアルデー防災・減災授業

命の尊さや助け合いの大切さなどを学んでいます。



教訓を生かす

●みんなの力で

命と暮らしを守る

地震や風水害などの大災害が発生した場合、地域の被害を最小限に抑えることを目的とした自主防災組織は大きな力となってきます。

このため、市では、市内自主防災組織の育成に努めており、訓練の推奨と支援、市政出前講座の活用推進、資機材整備の支援、リーダー研修会の開催などを行っています。

また、北但大震災や台風23号などの災害の経験と教訓



▲市震災総合防災訓練

を忘れないため、毎年、関係機関が参加した大規模な「震災総合防災訓練」の実施や、幼少期からの防災教育が大切なことから、小学生を対象とした「夏休み子ども防災監養成講座」も実施しています。

●円山川緊急治水対策事業

台風23号と同規模の集中豪雨が発生した場合でも、再び同じ被害を繰り返さないために、円山川と出石川下流部では、国による河川改修が実施されています。

平成16年から10年間に約900億円を投じて、河道整備や築堤、内水対策、堤防強化などの事業が緊急かつ集中的に行われています(5ページ参照)。



▲緊急治水対策事業が進む円山川

●水害サミットの開催

台風23号災害後、豊岡市が発起人(他3市)となり、水害サミットを5回開催してきました。

このサミットは、激甚な水害を経験した全国自治体の市町村長が会し、教訓や治水への思いを語り合い、水害経験を通じて得た知見や課題を被災地の責任として全国発信するとともに、防災・減災の観点から河川行政・管理などに対して意見・提案を行っています。

また、「被災地からくる防災・減災・復旧ノウハウ集」の発刊や、「水害サミットからの発信」と題したホームページを立ち上げました。

・ホームページアドレス

<http://www.mlit.go.jp/river/sugai/index.html>



▲「被災地からくる防災・減災・復旧ノウハウ集」

※防災についての詳細は、「豊岡市くらしの便利帳」や市ホームページをご覧ください。

安全な円山川へ

着々と治水対策を進行中

国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所では、平成21年度内をめどに平成16年台風23号と同規模の洪水に対して、再度災害の防止（堤防の決壊や床上浸水被害の軽減）を目的とした「河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）」による治水対策を進めています。

《問合せ》国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所

☎22-3126 または建設課激特事業推進室
☎23-1111

激特事業の種類

●河道掘削工事

河川敷や河底を掘って、洪水時に水を流れやすくします。



▲城崎町桃島区での河道掘削工事
(平成21年7月)

●堤防の整備

堤防がない箇所には、新

●内水対策

城崎、豊岡、八代の各ポンプ場の増強を図るとともに、六方川流域の内水対策工事を



▲一日市区での堤防工事
(平成21年6月)

に堤防を造ります。

また、堤防を太くしたり、高くしたり、丈夫にすることで決壊しないようにします。

行っています。

●橋梁・堰の改築

鳥居橋、KTR（北近畿タンゴ鉄道）橋の架け替え、新田井堰の改築を行い、洪水時に水を流れやすくします。



▲八代排水機場工事
(平成21年5月)

激特事業の効果

今年8月9日に発生した台風9号の影響による洪水は、過去の平成16年台風23号、伊勢湾台風に次ぐ史上3番目の流量となりましたが、激

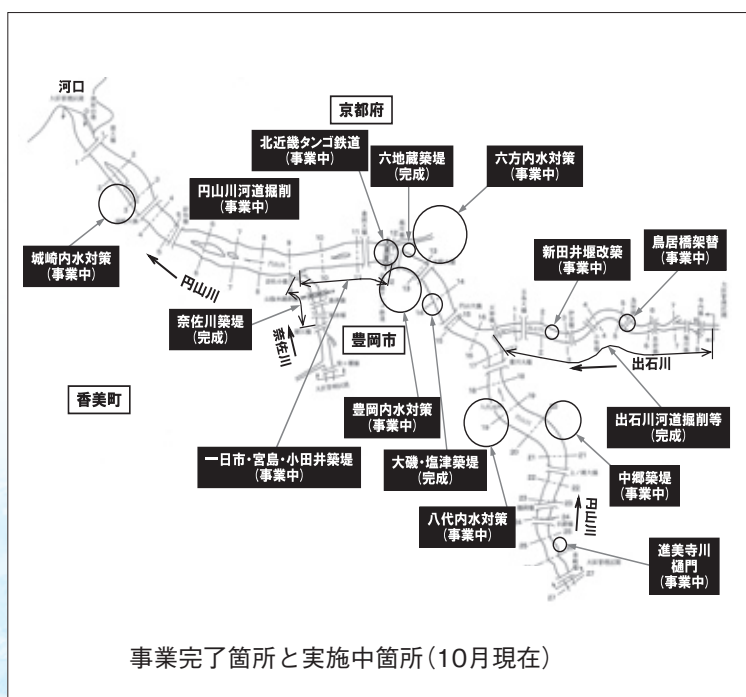


▲KTR橋架替工事(平成21年8月)

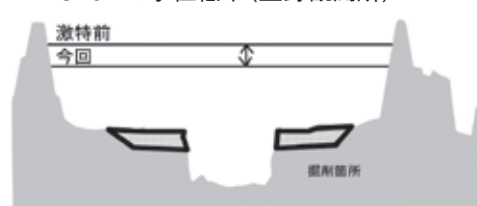
今後の展開

特事業を実施したことにより円山川の立野地点で81センチメートル、また、出石川の弘原地点で71センチメートル洪水位を下げることができました。

平成16年度から進めてきた激特事業も今年度が最終の年となっています。



台風9号では、河道掘削により81cmの水位低下(立野観測所)



【水害記録の募集】豊岡河川国道事務所では、平成16年台風23号から5年を経て、水害の記憶を風化させないために当時の水害写真やビデオなどを募集しています。

《提供・問合せ》国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所 ☎22-3126